

にっせんかい

日扇会ニュース



vol.64

2025年

地域の皆様と日扇会の意見交換・情報提供のための紙面です



(桜と菜の花 撮影者：hiro71)

花粉症の季節ですが…

くしゃみや鼻づまり、目のかゆみ～など花粉症に悩む患者さんは、年々増えています。加えて、新型コロナ発症も低空飛行ですが、患者さんは絶えずいらっしゃいます。

いずれも、口や鼻などからの侵入ですが、おかしい?と思ったら重症化を避けるためにも是非「早めの対策」、「早めの治療」をお勧めします。当院には呼吸器専門の常勤医師もおり、日曜日診療（第一、第三日曜日）も行っております。なお、日曜診療の結果、薬の処方が必要な場合でも近くの薬局をご利用いただけますので、ご安心ください。



薬のみ方について

薬剤課長 加藤 達也

「お薬がうまくのみこめない」、「喉^{のど}にひっかかる感じがする」～などの経験をされたことはないでしょうか。さらに「ご飯はちゃんと食べられているのに、おかしいなあ?」と思ったことはないでしょうか。



1. そもそも「ご飯がちゃんと食べられるのに、薬のみこめない」ということがあるのでしょうか。

食べ物は口のなかでかみ砕くことで、のみ込める大きさにすることができます。かみ砕くときに唾液も出ますので、唾液がからむことで食べ物がコーティングされ、スムーズにのみこむことができます。一方、錠剤服用時などは唾液も絡まないので、のみ込めずに口の中に残ってしまうことがあります。この現象は、最近注目され「錠剤嚥下^{じょうざい えんげ}障害^{しょうがい}」と名付けられています。なお、のみにくい^{のみにくい}といって、薬を口のなかでかみ砕く*のは、硬いということもありますが、薬の効用（効き目）を台無しにしてしまう恐れもあり要注意です。

(※)錠剤など薬には、製造過程でそれ自身にいろいろな工夫が施されており、説明書通りにのみこむことをお勧めします。

2. 錠剤嚥下障害という現象は、のみこむ筋力が落ちている方、薬を飲む習慣のない方や抵抗がある方に出やすい傾向があるようです。そのほかにも、薬の副作用で口の中が乾燥して、のみ込みにくくなる方もおられるという報告があります。

ある調査では錠剤嚥下障害の訴えのある方は、薬と一緒に飲む水の量が訴えない方に比べて少なかったという報告もあります。コップ1杯の水と一緒にのみこむことを習慣づけて

みてください。但し、むせてしまう場合は無理はなさらず、薬剤師にご相談ください。

3. 「のみ込みにくいな!」と感じたら、どうしたらよいでしょうか。

まず、一度にのみ薬の量を減らしてみる。何回かに分けてのんでみる。或いは、嚥下補助ゼリーやオブラートを使ってのみ。とろみ水でのむ～などを試してみましよう。

また、医師や薬剤師にのみ込みにくい症状があることを告げ、のみ薬の数（種類）を減らしてもらう。又は、溶けやすい形のくすり（OD錠）に変えてもらう等の方法もあります。

4. もうひとつ気を付けていただきたいことがあります。

それは、薬をのみるときに上を向いてのみこむ方がいらっしゃるかと思いますが、これはあまりお勧めできません。上を向くことで比重が軽い薬は水面に浮いてしまい、のみこもうとしても、水しかのみこめなくて、口のなかにくすりが残ってしまいがちであることが報告されています。なかには誤嚥性肺炎^{ごえんせいはいえん}を起こされる方も居られるようです。

薬をのみときは、前を向いて、あごをひいた状態で飲み込むのがよいとされています。

5. お薬をのみうえで「のみにくい?」など違和感を感じられたときは一のみかたのアドバイスをさせていただきますので一遠慮なく、院内薬剤師にご相談いただきたいと思います。



介護福祉士をご存知でしょうか

介護課長 三谷 浩之

さまざまな病気やケガの治療を受けるため、病院には多くの方が入院されています。そして、近年では高齢化が進むなかで、自分の思うように体を動かさない方や、認知症を抱えている方も少なくありません。したがって、ご家族にとっても患者さんの病院での生活は心配事が多く、種々不安を感じていらっしゃることも少なく無いのではないのでしょうか。

- そこで私たちの出番です。そうした患者さんの入院生活を支えるのが、介護福祉士の大切な役割なのです。患者さんに安心して入院生活を送っていただけるよう、医師や看護師と連携しつつ、その橋渡し役として以下のような、きめ細かいサポート（支援）をさせて頂いております。
- まず、食事や入浴のお手伝い、トイレへの誘導、車椅子の移動、歩行のサポートなど、日々の生活に欠かせない支援を毎日行っております。それもそれぞれの患者さんに合ったケアの提供が必要になります。病状等により、日々体調が変化する患者さんもおられるため、臨機応変に対応する能力が一介護福祉士には一求められています。患者さんの小さな変化も見逃さず、適切な対応をすることで、より良い入院生活を支えることができるからです。

- また、介護福祉士は患者さんの気持ちに寄り添うことも大切な仕事のひとつです。入院生活は、患者さんにとって不安や孤独を感じることも多いと思います。そのため、優しく声をかけたり、時には話し相手になったりすることで、患者さんの気持ちを和らげる心のケアも、介護福祉士に求められる大事な役割です。

- 一方、介護福祉士は患者さんのご家族との関わりも重要な役割の一つです。患者さんの体調や状態をご家族に伝えたり、不安を抱えるご家族の気持ちに寄り添うことなど介護福祉士が間に入ることで、患者さん本人だけでなく、ご家族にも安心して頂けるよう努めております。また、退院支援のサポートも大事な仕事です。

- 介護福祉士の仕事は大変なことも多いと感じていますが、患者さんが少しずつ回復し、ご自分で食事をとれるようになったり、歩行の補助を続けた結果、自力で歩けるようになったりする場面に立ち会うことができます。そのような瞬間に立ち会えると、患者さんと共に喜びを分かち合うことができ、仕事の意義を実感しております。また、患者さんの笑顔や「お世話になりました」、「ありがとう」という言葉も大きな励みになっており、これからも患者さん・ご家族に寄り添いつつ、一同温かいケアを提供し続けていく所存です。



いんない 院内いしー

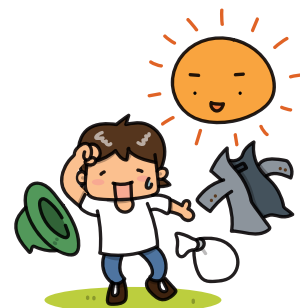


ご挨拶

総務課長 おおばやし まさる 大林 大

この度、ご縁がありまして2025年1月より伝統ある日扇会第一病院に就任いたしました。今までは主に接客サービスの業務にずっと携わってきておりましたので、今回医療の世界は初めてになります。当院では、まだ3カ月しか経験しておりませんが、広義にはサービス業といえる病院での仕事も、多くの方々と係わることには「共通点がある」と、改めて実感しております。

- ところで、病院総務課の仕事は本当に多岐にわたる！というのが第一印象です。即ち、人事・労務の管理や経理処理、営繕や諸施設の管理、またシステムネットワークの管理も総務課の仕事です。そして監督官庁や金融機関、諸外注先などとの折衝などもあります。しかし、病院として最も大事なことは「患者さんに、安心してご来院いただける医療機関」を目指すことだと思っております。総務課は直接、患者さんの医療に係わる部署ではありませんが、信頼される病院実現のため、病院機能の健全な運営を支える部署であることを肝に命じつつ、日々の業務に努めることが私の使命だと思っております。
- 当院の理念は「医療は患者さんのために存在する」です。この15文字が当院の目指す役割の全てであると思っております。換言すれば、信頼される病院としての普遍的な哲学ともいえますが、それを実践していくには全職員一人ひとりの協力が欠かせません。イソップ寓話に『北風と太陽』というお話があります。北風と太陽が力比べをしようと、通りすがりの旅人の外套を脱がせることができるか、という勝負をすることになりました。最初に、北風は力いっぱい風を吹かせ、旅人の外套を吹き飛ばそうとしましたが、旅人は外套をしっかりと押さえてしまい、北風は旅人の服を脱がせることができませんでした。次に、太陽は暖かな日差しを送り続け、旅人を照らします。すると暑さから旅人は自から外套を脱いでしまい、太陽の勝ちとなったというお話です。また、自己啓発本で有名なD.カーネギーも著書『人を動かす』の中で、北風のように強引に言い聞かせようとし、怒鳴ったりすれば、相手を意固地にさせたり反発を招くだけで、太陽のように穏やかで暖かな感情で話しかけることが肝心であると説いています。
- 世の中、厳しさということも大事ですが、やはり「寛容のこころ」や「相手の立場にたつ」という気持ちが、特にサービス業ではより大切なのではないのでしょうか。私がこれまでの社会人経験で実感している人生訓です。これからも寛容の気持ちを大事に、患者さんや職員の皆さんと丁寧に接していきたいと思っております。



編集発行人

医療法人財団 日扇会第一病院

〒152-0031

目黒区中根2-10-20

TEL：03-3718-7281(代表)

FAX：03-3718-7736

ホームページアドレス：

<http://www2.nissenkai.or.jp/>

季刊紙 発行日：3月31日

理念 医療は患者さんのために存在する

使命 患者さんの「かかりつけ医」として地域医療に貢献します

基本方針

1. 私たちは、患者さんの権利と人格を尊重した医療を行います
2. 私たちは、プロとしての責任と誇りをもって自己研鑽に励みます
3. 私たちは、病院全体の力を結集して患者さんを支えます
4. 私たちは、信頼される医療を継続するため徹底したリスク管理を行います
5. 私たちは、全職員が思いやりとやりがいを持って医療を行う活気ある病院を作ります
6. 私たちは、担うべき役割を将来とも継続的に果たすため、安定した経営を維持します

